

ROUSAN ニュース

アジア山岳連盟創立から20年

広島市で記念行事開かれる

「平和」「自然保護」も大きなテーマに



各国からの参加者と宮島・弥山をハイキングの旗の右に川嶋事務局長、下右に浦添理事長

「平和」「自然保護」も大きなテーマに

日本勤労者山岳連盟
Japan Workers' Alpine Federation
〒162-0814
東京都新宿区新小川町5番24号
TEL 03(3260)6331(代)
FAX 03(3235)4324(代)
URL http://www.jwaf.jp

お問い合わせ・情報は

フリーダイヤル
0120-44-2742
(平日10時~18時)
E-mail: jwaf@jwaf.jp

アジア山岳連盟の20年

アジア山岳連盟 (Union of Asian Alpine Associations=UAAA) は、1994年11月に韓国・ソウル市で結成された。他に世界的な山岳組織として、1932年創立の国際山岳連盟 (UIAA) がある。しかし、この組織ではヨーロッパ各国の発言力が強く、アジアの意向が反映されにくかった。会議もほとんどヨーロッパで開催のため、アジアからは費用負担も大きかった。このため、日本山岳協会の提唱がアジア各国に支持されて、独自の組織結成に至った。日本からは労山と日本山岳協会の2団体が加盟している。会長国は日本からネパールに、現在は韓国に移っている。労山は総会と理事会会議に毎回出席し、各国山岳団体と親交を深めている。

「アジア山岳連盟」に加盟したのは、13の国と地域、16団体、日本山岳協会の他、日本山岳会、HAT、オプザバーで参加しました。日本からは、加盟団体の日本勤労者山岳連盟、日本山岳協会の他、浦添理事長、花村副理事長など全国連盟4名、安達理事長など広島県連5名が参加し、24日の宮島・弥山(みせん)で、この催しに労山から代表して、浦添理事長が担当し、花村副理事長が司会をしました。報告は日本の各団体も含め、すべて英語で行われ、環境連絡会が主催団体で運営を担当し、浦添理事長が担当し、花村副理事長が司会をしました。報告は日本の各団体も含め、すべて英語で行われ、



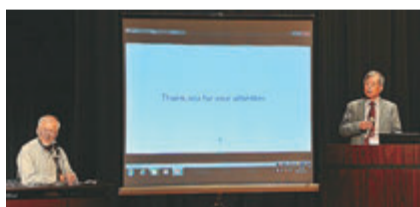
熱心に聞くフォーラムの参加者

広島山岳平和祭の日程

- 11/22 (土) 午後 労山を除く日本山岳協会、日本山岳会、HAT-J各団体ごとの自然保護会議
- 11/23 (日) 午前 平和祈願祭(平和祈念公園) 午後 国際山岳自然保護フォーラム
- 11/24 (振替休日) 宮島・弥山交流登山
- 11/25 (火) UAAA第20回総会

がありました。

ましたが、300名を超える参加者は、最後まで席を立つことなく聞いていました。そのなかで、台湾(中華民国)健行登山会からは、「日本の山岳の放射線測定活動の作成した『自然保護憲章』を参考に、その台湾版を作って自然保護に取り組んでいる」との報告がなされました。



英語で司会する花村副理事長(左)

元気な労山 北でも南でも 全国各地でさまざまな取り組み

次世代の育成めざし九州登山学校を開設

九州ブロックは、将来を担う次世代育成のため、「九州登山学校」を2014年9月27、28日に



予定を超える参加者で、会場は盛り上がった

「国立阿蘇青少年交流の家」で開催し、5県連20会から58名(講師を含む)が参加しました。

内容は、初日が机上講習。九州の登山の歴史や登山の歩み、その基本理念である「趣意書」、登山の運動生理学、登山の活動と現状などを学びました。二日目はクライミングジムに場を移し、最新の確保技術を実技指導しました。

「広島山岳平和祭」の開催趣旨(日本山岳協会)

日本では、アジア山岳連盟の会議は、松本市で開催されたことがあります(2001年)。その際、海外からの参加者の多くが、平和都市、広島市に寄って帰られました。日本で次の会議を開くなら、広島市で開催して欲しいという要望が強く、2011年の集会(ネパール)で、広島市での「総会」開催が全会一致で決定されました。

日本では、とく忘れがちですが、「登山」をするには、「平和」と、その先にある「安全・安心」とが必要です。海外では、国際登山隊のベースキャンプへの、武装集団による襲撃テロ事件が発生するなど、「安全」で「安心」して登山できない地域があります。アジア各国の登山者からの、こうした強い思いを受け、日本山岳協会は「広島山岳平和祭」を開催することとしました。

恒例 北海道登山研究会 多数の参加者が盛り上げる



記念講演を聞く参加者

「北海道登山研究会」は、北海道連盟が毎年開催する恒例行事ですが、2014年も11月8日、9日に札幌市・道民活動センター「かどる2・7」で開かれました。初日は午後6時半から川嶋・全国連盟事務局の記念講演、二日目は朝から午後2時過ぎまで4テーマの分科会に分かれて討論しました。参加者は初日102名、二日目184名。若い会員の姿も見られました。

山口県連 公開講座に142名 白旗史郎氏 招き

白旗さんは、若いころは70、80kgにもなる写真機材を自ら担ぎあげ山に入っていたとのこと。また、デジタル写真ではなく、情報量が豊かで画像が美しいフィルム写真を推奨しています。「撮った中で一番良い写真は？」との質問に「これから撮る写真」と回答する白旗さん。意欲は満々でした。



会場からの質問にもこやかに回答する白旗さん

山口県連は、昨年6月22日、山口市にある山口県セミナーパーク講堂で、山岳写真家白旗史郎氏(81)を招き、公開講演会を開催しました。

参加者は山岳会員47名、一般95名の計142名

昨今の重大事故（死亡事故を含む）の特徴と今後の課題

2014年9月16日 日本勤労者山岳連盟 遭難対策部

労山会員の死亡など、重大事故があつたと絶え絶えず。昨年2014年も、10名の仲間が山で亡くなって、活動の課題をまとめた。遭難・事故の内容や件数が各県連で差異があるように、

1、計画書段階での問題点

山行計画書はその山行の図上での実践である。参加者が緻密な山行計画を練ることは、誰もができる登山の安全管理である。遭難活動の入り口ともいえる。早期の計画書の作成は、トレーニングを含めた諸準備を

行える保障でもある。パーティ全員3名が死亡した2014年3月の鳥取県大山事故は、計画が事前

に「登山本部」の人に知らされず、教育遭対部長への計画書提出も登山前日の夜だった。このため、救助活動の遅れを招いた。また、エスケープルートの記載がないなど、到底、残雪期の山に入る内容とは考えられない。この計画書から推察すると、当該リーダーは雪洞作りなどの「雪上技術」をきちんと修得していたと

は考えられない。2013年12月、北海道・上ホロカメツク山での2009年のトムラウシ

事故のあと、全国遭対部は10項目にわたる「安全登山マニュアル」を発行した。その中で従来、強調されなかった「低体温症」についても詳述し、その危険性と早期の症状の判断の重要性を指摘した。食糧や装備等については良く準備されが

岐阜市で114名が集う

全国ハイキング交流集会



二日目の交流ハイキングで、長良川の橋を渡る背後に見える山が百々ヶ峰（どどがみね417m）

第19回全国ハイキング交流集会が、2014年9月27日〜28日に、岐阜市の長良川スポーツプラザで開かれました。主管は岐阜県連です。参加者は初日の全体会・分散会に15地方連盟86名、2日目の交流ハイキングには3コース合計で100名、両日の参加者総数は114名でした。

今回は室内での討論を初日だけとし、2日目は思い切って、朝から近郊の山で交流ハイキングを行いました。分散会は4グループに分かれ、それぞれの会の活動や当面する課題について、情報交流をしました。各会の企画の立て方やリーダーの確保、深刻となりつつある高齢化対策、会員拡大の取

り組み、など多方面の意見が交換され、また、ある日Cから登山脱退が表明されたとの報告があり、会員に労山の意義をどう理解してもらおうかも議論しました。集会初日には、御嶽山が突然の噴火。誰か入山して眺めを楽しましました。

リニア新幹線は南アルプスに何をもちますか？

全国登山者自然保護集会 静岡県 島田市で開催



記念講演する和田名誉教授

第17回全国登山者自然保護集会が10月11〜12日に、静岡県島田市山村都市交流センターで開催され、17都府県から89名が参加しました。主管は静岡県連でした。メインテーマは、「南アルプスの大自然を貴くリニア中央新幹線」。記念講演は、静岡大学名誉教授の

和田秀樹氏に「南アルプスリニア線、大地下トンネルの環境影響評価」と題してお願いしました。リニア新幹線は南アルプスの地下を25kmのトンネルで貫くもので、水源の枯渇や水生生物、動植物など山岳自然の生態系や自然景観をも破壊しかねないことが心配されています。この問題への関心は高く、集会には日本山岳会会員や島田市の市議会議員、毎日新聞、しんぶん赤旗の記者なども参加し、報道されました。これらの声を反映して、集会は最後に「リニア新幹線計画の凍結を求めるアピール」を採択し、終了しました。

「何故その事故は起きたのか」という真摯な事故原因の究明と、その内容を全国の仲間が共有することで同種の事故は防げる可能性がある。そのためにはヒヤリハットの厳密な収集、事故の軽重に関係のない事故原因の究明が重要である。「繰り返し講習会等で安全登山についての知識と技術を教えること。多くの仲間」に事故の実態を知らせることが遭難対策の基本であると言える。同時に事故の当該会、地方連盟が真摯で徹底した事故原因の究明を行うことも同様の事故を無くす大きな力となると考



「脳疾患・心疾患」200円 郵送でお届けします（送料別）



「安全登山マニュアル」100円 郵送でお届けします（送料別）

2015年山カレンターに誤植がありました。皆様にお買い上げいただきました2015年山カレンターですが、9月15日と16日の数字が入れ違っていました。お詫びいたします。訂正シートは各会にお届けしていますが、まだの会は、全国連盟事務局にお知らせ下さい。

変化する国土地理院の地図

インターネットで地形図ゲット!

自宅でも山でも地図が手に入る

●順次、多色刷化する 2万5千分の1地形図

登山やハイキングに地形図は欠かせません。その元になっているのは国土地理院が作成している地形図ですが、いまこれが装いを新たにしています。

国土地理院の地形図は、かつては紙の上に描かれた図面でしたが、しばらく前からデジタル地図に変更されました。これは、位置(緯度経度)や海拔など数値情報の膨大な集積です。そして、この情報を地図として表現したものが、新しく公開されています。

一つは、書店や登山用品店などで買うことのできる「2万5千分の1地形図」

です。従来のものは3色刷りでしたが、デジタル情報に基づいて多色刷りとなったものが、2013年から毎月数十図幅ずつ新規発売され、2015年1月1日現在で全国4419面中336面が新版となっています。これには地形に陰影がつけられ、直感的に凹凸がわかるのですが、文字が小さく、中高年にはちょっとつらいかな?。価格は旧版が税込1枚278円、新版が339円です。

●「ウォッチ」から「地理院地図」へ

インターネットでの地図利用も便利になりました。国土地理院のホームページに公開されている地形図が新しくなり、自由にプリントもできます。

この地図閲覧サイトは、かつては「ウォッチ」の名称がつけられ、「電子国土基本図」が掲載されていました。これが、昨年(2014年)4月からは「地理院地図」の名称となりました。また、地図記号など全体の表現様式が、「電子国土基本図」ではいろいろと変更されましたが、「地理院地図」では、元々の「2万5千分の1地形図」に近くかなり戻されました(表参照)。

●見たいところを探す

自分が必要とする場所を探し出す方法は、大きく変わりました。従来の「ウォッチ」では、日本全体の索引図から、自分の見たい場所を選んでいました。しかし、「地理院地図」では、まず初期画面に日本列島を中心とした世界地図が表示されます。そこからスタートして、左側にあるスライダーを使って拡大していき、自分の見たい場所を表示させる方式です。ちょうど、「グーグル・マップ」と同じようなやり方です。この拡大・縮小がたいへんスムーズで、いろいろな縮尺で画面を表示させることができます。やってみると、面白いですよ。



国土地理院ホームページのトップページ真ん中に「地理院地図」のボタンがあるので、これをクリックすると「地理院地図」の初期画面(日本列島を中心にした世界地図)が表示される。

新旧地図の表現の違い(例示)

	電子国土基本図	地理院地図
建物の輪郭	線がなく見づらい	赤色でくっきり
送電線	記載されず	従来通り記載
鉄道線	細い一本線で分かりづらい	従来と同じ表現
行政境界	色つき太線(かえって等高線が見えにくい)	従来と同じ表現

●プリントの仕方

たいへん便利になったのが、地図のプリント方法です。これには3つの方法があります。

①地図上にあるプリント・ボタンを使う
これが一番、手軽な方法。表示された地図の画面右上にあるプリント・ボタンを押すと、画面が印刷用画面に切り替わります。用紙の大きさを指定し、印刷します。ただし、この方法では周囲に余白が残ってしまいます。

●カシミール3Dを使う

②紙いっばいに印刷する方法
可能な限り余白を縮めて印刷する方法は、①の印刷画面の右肩にある「留意事項」のなかに説明されています。ただしこの場合も、CTRキーと「+」キーで画面の大きさを調節し、「印刷プレビュー」画面で余白を最小限にすることができ、少し手間をかけるのと、思っようなプリントにはなりません。

●磁北線の表示方法

③カシミール3Dを使う(後述)
こうしてプリントした地図を何枚か糊付けしてつなぎあわせれば、自分が必要な地図が得られます。

①まず地図の画面中にポインタを置き、右クリックする。②いろいろな機能がセレクトされたボックスが表示されるので、「磁北線の表示」をクリックすると磁北線が一本引かれる。③間隔をおいて適宜、数本の磁北線を引く。④前記の手順で印刷する。

大人気「登山詳細図」シリーズ
新作「奥多摩(西編)」
800円でお分けします

奥多摩 登山詳細図 西編
雲取山・三頭山 御前山・鷹ノ巣山
全112コース
西谷山・三ツツク 七ツ石山・天祖山
作成・解説・調査 守屋二郎
監修 鎌倉 守屋益男
1:16,500
500m 100m 500m

ISBN978-4-8409-411-7
C0326 7800

1ス新作が発売されました。「奥多摩・西編」で、B1版変形685×1,000mmの大判の地図画面に雲取山・川苔山・御前山・三頭山などが16500分の1の大縮尺で収録されています。税込950円のところ、登山会員の皆様には800円でお分けします(送料は実費、8部以内なら80円)。ご注文は全国連盟事務局までFAXかメールで。

●外部からも高い評価

日本勤労者山岳連盟が発行人の月刊機関誌「登山時」などの連載記事も人気があります。外部の人たちや、

御嶽山噴火の体験記も掲載
「登山時報」は面白いぞ
個人でも購読できます

「登山時報」をぜひご購読ください。購読料は月310円。各会の担当者にお申し込み下さい。

直接、個人購読もできます。その場合は年間購読料4,560円(送料込み)。(自宅まで個別に郵送いたします。お号には、富士山の北側、御坂山塊にある落差120m幅40mの知られざる氷瀑「千波」

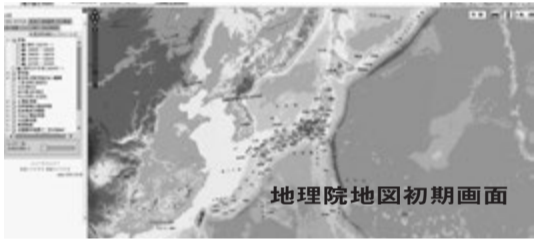


見て分かりやすいDVD付 正確な筋力トレーニング効果マップ

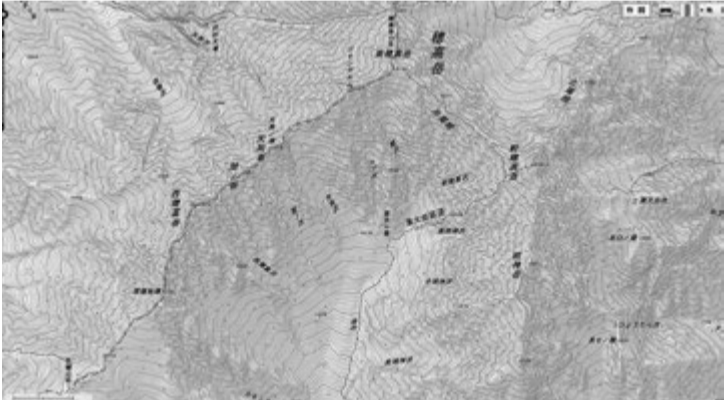
会員特価でお分けします

「筋力を鍛えて、いつまでも山に登ろう」と、全国各地で山筋ゴーゴー体操の講習会が活発に行われていますが、きちんと正確に実施しないと効果がありません。そこでお勧めなのがこの本「DVD付き山筋ゴーゴー体操」です。

本のページでも詳しく解説されていますが、付属のDVDで、この体操の考案者である石田良恵先生(労働山全国女性委員)が肉声で丁寧に解説。モデルの女性が実演している、目で見ることでできるから、と



地理院地図初期画面



地理院地図でみた穂高岳



2014年12月号では御嶽山の噴火に遭遇した名古屋と京都の登山会員の生々しい体験記を掲載。2015年1月号には、富士山の北側、御坂山塊にある落差120m幅40mの知られざる氷瀑「千波」

「山と仲間」のルーツをたどる 書店でも販売された 山岳総合雑誌「山と仲間」 シリーズ第3回

（前号に引き続き、労山の歴史第3弾です）

☆ ☆ ☆
労山は、1965年の上高地登山祭を機に大きく発展しました。全国の組織数は1967年2、500名 ↓1970年5、325名 ↓1974年1万名

を突破と（日本勤労者山岳連盟30年略年表による）、3〜4年ごとに倍増し続けています。

しかも、当時の会員は若い人たち中心で、労山の4つの特徴の一つに「青年の活動であること」が挙げられているほどです（1970年6月第2回全国登山研究集会での報告）

こうしたなかで、1972年の第9回全国総会では、新たにハイキングクラブを創設していくことや、

シリーズ第3回

「50万人の労山」をつくるという意欲的な組織方針が提起されました。また、連盟費を引き上げ、それまで転々としていた連盟事務所を東京・新宿区高田馬場の登山用品店「カモシカ」地下に開設しました。

あわせて、労山の活動を全国に伝える機関誌発行に力が入られました。全国的な機関誌としては1969年5月に「労山全国連盟通信」第1号が発行され、当初はガリ版刷りのページを製本したものでしたが、70年4月の第4号からはタイプ印刷となり、内容も充実しました。

さらに、1970年の第5回全国常任理事会は、この筆者を登場させました。瓜

●意欲的な編集 執筆も多彩
内容的にも多彩な外部執筆者を登場させました。瓜

●資金難に悩まされ
しかし、資金的なバック

「山と仲間」の歩み

- 1969.5 「労山全国連盟通信」として第1号発行 ガリ版刷り 横書き
- 1970.4 第4号よりタイプ印刷に
- 1970.5 第5号より38ページに
- 1970.6 第6号「全国通信」に改題
- 1970年5回全国常任理事会 「全国通信」を改題し、月刊山岳総合雑誌とすることを決定
- 1970.11 第12号から「山と仲間」に改題 一部100円
- 1971.3 組織内機関誌として「労山通信」を別に創刊
- 1971.3 4月号よりオフセット印刷化で、表紙に絵、本文にも写真が掲載されるようになる
- 1972.12 「山と仲間」1月号より活版印刷化、表紙はカラーに 96ページ 一般書店にも配本 一部200円
- 1973.12 「勤労者山岳スポーツ研究所」設立 「山と仲間」編集業務を同研究所に移管
- 1975年 1月号から、横書きを縦書きに改める 一部400円に
- 1981年 8月号から一部600円に
- 1983年4月 第5回全国代表者会議で「山と仲間」の編集が「山岳スポーツ研究所」より返還され、販売を（株）水曜社に委託
- 1986年2月 第17回全国総会で「山と仲間」休刊を承認 1986年3月号をもって休刊



「山と仲間」に、女優・吉永小百合も2回寄稿している（1973/1、5月号）。左は1月号。イラストも本人のもの。仲間5人で、小雪降るなか東京三頭山に行ったことが題材だ。



1973年1月号 96ページ



1983年7月号132ページ

労山会員証 新カード 発行される




日本勤労者山岳連盟の新会員カードが発行されました。これは、旧カード（下）の期限が昨年（2014年）末で切れたことに伴うもので、新カード（上）は、白

日本勤労者山岳連盟の新しい山々や登山するクライマーのシルエットが労山事務局員の手に持ってデザインされ、美しく仕上がりました。

新たな有効期限は6年後の2020年12月末です。このカードを提示することによって、労山優待施設の山小屋や登山用品店、クライミングジムなどで割引を受けることができます。

また新カードの発行を受けていない皆さんは、早急に全国事務局に会員登録で申請して下さい。

「山と仲間」は他の山岳雑誌と並んで書店で販売され、一般の登山愛好者の目に触れる機会も多く、労山の対外的な顔として大きな役割を果たしました。購読部数も1972年には5千部に達しています。

「山と仲間」は他の山岳雑誌と並んで書店で販売され、一般の登山愛好者の目に触れる機会も多く、労山の対外的な顔として大きな役割を果たしました。購読部数も1972年には5千部に達しています。

山の歌は みんなで歌う歌 だから 楽しい

ROUSAN パートナース会員
中西さん夫妻と大合唱



労山事務所に「ともしび」がやってきた来賓も交えて大合唱（望年会で）

「山の歌はみんなで歌える歌だ」――2014年を締めくくると、労山全国連盟の音楽喫茶「ともしび」を縮め、中心に活動してきました。望年会（12月5日）は、山の歌の大合唱で大いに盛り上がり、その立役者には、ROUSAN パートナース会員（山岳個人会員）である中西明さんと奥さん（たみ子さん）のお二人です。たみさんがアコーディオンを弾き、テノールの明さんが歌をリードするの

「山の歌はみんなで歌える歌だ」――2014年を締めくくると、労山全国連盟の音楽喫茶「ともしび」を縮め、中心に活動してきました。望年会（12月5日）は、山の歌の大合唱で大いに盛り上がり、その立役者には、ROUSAN パートナース会員（山岳個人会員）である中西明さんと奥さん（たみ子さん）のお二人です。たみさんがアコーディオンを弾き、テノールの明さんが歌をリードするの



明さんが歌をリードし、たみさんが伴奏する

「ともしび」がやってきた来賓も交えて大合唱（望年会で）

中西さんに、「出前歌声」をお願いすることも可能です。この決まりで、1人5万円、奥さんと二人なら10万円（交通費別）の出演料というところでしたが、「1」相談には応じます」とのことでした。連絡先は新宿「ともしび」まで。